

中頓別町の新たな医療・介護連携のしくみを構築するために —町と国保病院の無床化とまちづくりの連動—

基本的な考え方

- 住民の健康と安心を守る新しい医療・介護連携システムに移行するため、病床50床の維持に充てている財源を再分配し、新たに必要とされるサービスとしくみの構築に充てる。
- 新たなサービスとしくみに従事する職員（住民）がやりがいのある職場をつくり、医療・介護チームとして機能させていくことを目指す。
- そのため、真の住民ニーズにアプローチし、また住民の理解を得て、住民自らが支え合いの主役となってもらうよう、対話を続けていく。

R2

R3

R4

R●

医療機関

一般病床 (50床)

・病床利用率約20%

訪問看護

居宅介護支援事業所

準備

居宅介護支援事業所の移設

在宅医療

病院 (20床)
介護医療院 (16床)
訪問看護

一人暮らし高齢者を支えるしくみ

訪問看護機能の移設

在宅医療

無床診療所

ホテル機能

介護・福祉施設

特別養護老人ホーム (55床)

ショートステイ5床

・平均要介護度 3.5
・入居 46人

医療依存度が高い入居者の転居

職員のジョブトレーニング

特別養護老人ホーム (50床)

ショートステイ10床

・特例入所の受け入れ
・看取りができる特養へ

要介護度の高い入居者の転居

養護老人ホーム (55床)

・入居47人中、
要介護1以上32人

養護老人ホーム (〇人)

看取りができる特別養護老人ホーム (50床)

養護老人ホーム・高齢者共同住宅など (〇人)

地域包括ケア

デイサービスセンター

訪問介護支援事業所

居宅介護支援事業所

介護予防支援事業所

地域包括支援センター

生活支援コーディネーター

ショートステイ機能の移設

小規模多機能支援事業所

・ショートステイ
・訪問介護
・デイサービス

通所リハビリテーション事業所

居宅介護支援事業所

+
・温泉保養施設
・交流機能 (カフェ)
・トレーニングジム
・フィットネスクラブ
・まちの保健室

看護小規模多機能事業所

・ショートステイ
・訪問看護
・訪問介護
・デイサービス

通所リハビリテーション事業所

居宅介護支援事業所

<一人暮らし高齢者を支えるしくみ>
見守り 認知症対応 買い物支援
生活支援 食事支援 入浴支援
移送支援

<拠点施設>
まちづくりとの連動

住民参加

保健

介護福祉センター
保健センター
(なかとんネウボラ)

<町民の健康を支えるしくみ>
健診機能の拡充 (ワンコイン検診の実施、
糖尿病予防二次健診・眼底検査の実施)

健診機能の拡充 (人間ドック、内視鏡による胃がん検診)

ICTを活用した健康づくり 健診結果等情報の利活用のしくみ 医療との連携